政策コメンテーター報告（第3回、意見照会期間：2014年10月24日～11月５日） 武輪　俊彦：武輪水産株式会社代表取締役社長

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	９月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ①　消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び（正規比率の上昇を含め）や消費マインド ②　企業収益の動向、民間設備投資の強さ（設備投資計画の動向も含む） ③　輸出入の動向、交易条件の動向 ④　物価動向（一時的要因を除いた実勢と期待物価） ⑤　マーケット（株価、為替、金利等）の動向	昨年、一昨年に比較して海水温の低下が早く、それにつれて魚群の南下も早く、東北地方の盛漁期は終盤を迎えていると思われる。主要な加工原魚の水揚状況は全体的に芳しくなく、価格も高めに推移している。原料価格の上昇分を製品価格に転嫁するには慎重で、利益を圧縮しながら稼動を維持している。年末の最需要期から年明けに向けて、価格転嫁が実現できるかどうかが大きな課題となっている。
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身（自社）の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	国内の原魚不足を輸入原魚で賄わなければならない場面が増えてくると予想される中で、円安は収益を大きく圧迫すると思われる。また、工場で使用する燃料価格の上昇のほか、運送業者の運賃値上げも負担となっている。